■ 第5章 緑のまちづくりの実現

5 - 1 緑のまちづくりの実現に向けて

緑の将来像テーマである「青い海と豊かな緑で笑顔になるまち がまごおり」や、 緑の将来都市デザインを実現するため、目標と指標を設定し、一歩目の施策として、 「リーディングプロジェクト」を進めていきます。また、「緑化重点地区」として2つ のエリアを設定し、集中して緑づくりを進めていきます。

(1)緑のまちづくりの目標

緑のまちづくりの実現に向けた目標を設定します。

【目標1】

市街地の緑づくりを進め、まちなかの緑を豊かにします。

【目標2】

市民に親しまれる公園をつくります。

【目標3】

市民・事業者・行政が協働で緑のまちづくりに取り組みます。

②リーディングプロジェクト

縁づくりの目標を目指して、先駆けて 進める施策を設定します。

【施策1】

緑あふれる道づくり

【施策2】

生垣のまちなみづくり

【施策3】

みんなに愛される身近な公園づ くり

【施策4】

市民・事業者・行政の協働での緑づくり

3緑化重点地区

市民・事業者・行政が協働で、集中 して緑のまちづくりを進める上でモ デルとなる地区を設定します。

【①蒲郡駅南エリア】

テーマ:

観光立市蒲郡の玄関口としてふさわしい緑づくり

【②ラグーナ蒲郡周辺エリア】

テーマ:

マリンリゾートとしてふさわ しい緑づくり

5 - 2 緑のまちづくりの目標

目標 1

市街地の緑づくりを進め、まちなかの緑を豊かにします。

市街地の緑はヒートアイランド現象の緩和や、都市環境を保全する効果があり、都 市景観づくりにも効果があります。

市街地の緑を増やすために、市街地にある社寺境内地などの緑を保全しながら、道路や河川、公園、学校などの公共施設での緑づくりや、住宅地や商業地、観光地、大規模事業所などの民有地での緑づくりを支援する仕組みづくりを進めて、市民が普段の暮らしの中で、もっと身近に緑を感じられるようなまちにしていきます。

このため目標1では、市街化区域及び市街地中心部の緑被面積を指標に設定します。 目標の進捗は定期的にチェックし、状況に応じて施策などの見直しを行います。

指標1: 市街地の緑被面積

		現況	目標年次(平成 36 年)	
古朱化区域	区域面積	2,051ha	2,069ha	
市街化区域	緑被面積	463.26ha	482ha	
主结地由心如	区域面積	280ha	280ha	
市街地中心部	緑被面積	36.35ha	45ha	



: 市民に親しまれる公園をつくります。

市民や事業者などが積極的に緑に関わり、緑に愛着を持つ心をはぐくむため、市民・事業者・行政で話し合いを行い、公園の施設の見直しなど、地域のニーズに合わせた特色ある公園づくりを重点的に進め、市民が普段の暮らしの中でもっと緑に愛着を感じられるまちにしていきます。

このため目標2では、「公園や緑の将来についてのアンケート調査」での公園の利用 頻度を指標に設定します。目標の進捗は定期的にチェックし、状況に応じて施策など の見直しを行います。

指標2 : 月1回以上利用している人の割合(公園の利用頻度)

	現況	目標の値(平成 36 年)
一般	41.7%	500/N L
中学生	35.7%	50%以上

現況は「公園や緑の将来についてのアンケート調査」(平成22年実施)によるもの。

参考: 本計画アンケート調査の「公園の利用頻度」

	一般		中等	学生
	回答数	構成比	回答数	構成比
1. 週に3日以上利用する	6	2.0%	9	3.8%
2. 週に1, 2日利用する	41	13.8%	24	10.2%
3. 月に1回から3回程度利用する	77	25.9%	51	21.7%
《 月に1回以上利用している人 合計》	124	41.7%	84	35.7%
4. 年に4回から11回程度利用する	54	18.2%	39	16.6%
5. ほとんど利用しない	112	37.7%	108	46.0%
6. その他	3	1.0%	2	0.9%
無回答	4	1.3%	2	0.9%
合計	297	100.0%	235	100.0%



市民・事業者・行政が協働で緑のまちづくりに取り組みます。

市民・事業者・行政それぞれが独自に緑のまちづくりに取り組むことも大切ですが、協働で取り組むことで、地域のニーズに合った、調和のとれた緑づくりや、継続的な緑化活動の実現など、大きな効果が期待できます。そのため緑とのふれあいの場所づくりや自然学習会、樹林や公園を保全するボランティアの育成など、協働で緑のまちづくりに取り組めるように、様々な活動を支援する仕組みづくりを進め、市民が普段の暮らしの中で、もっと緑とのつながりを感じられるようなまちにしていきます。

このため目標3では、市民・事業者・行政が協働で行う緑のまちづくりの1つである「蒲郡市公共施設里親制度(アダプトプログラム)」の団体数及び会員数を指標に設定します。目標の進捗は定期的にチェックし、状況に応じて施策などの見直しを行います。

指標3 : 蒲郡市公共施設里親制度(アダプトプログラム)の団体数・会員数

	現況	目標の値(平成 36 年)
団体数	16 団体	40 団体
会員数	363 人	600 人以上

現況は平成22年4月時点の数字

5 - 3 リーディングプロジェクト

(1)リーディングプロジェクトの設定

緑のまちづくりの一歩目の施策として、緑のまちづくりの目標ごとに「リーディングプロジェクト」を設定します。「リーディングプロジェクト」を進めることで、市民・事業者・行政が協働で「青い海と豊かな緑で笑顔になるまち がまごおり」を目指すきっかけづくりや、緑を愛する意識の向上につなげていきます。

目標1: 市街地の緑づくりを進め、まちなかの緑を豊かにします。							
施策	施策内容	対象など					
【施策1】 緑あふれる道づくり	主要河川・道路では、市民・事業者・行政が協働で、花の種をまいたり、プランターを置いたりして、「花のみち(仮)」づくりを進めます。	花のみち(仮) (都)蒲郡港線、オレンジロード、マリンロード、西田川、落合川、拾石川					
【施策 2 】 生垣のまちなみづくり	緑あふれるまちなみづくりのため、ブロック塀を生垣につくり替えることを支援する仕組みをつくります。	地区計画区域、緑化重 点地区、中心市街地					

目標 2 : 市民に親しまれる公園づくりをします。							
施策	施策内容	対象など					
【施策3】 みんなに愛される身近 な公園づくり	これからの公園づくりや公園の再整備に ついては、市民・事業者・行政で話し合い を行い、みんなに愛される身近な公園をつ くります。	公園づくりや再整備に 向けた話し合いの実施					

目標3 : 市民・事業者・行政が協働で緑のまちづくりに取り組みます。							
施策	施策内容	対象など					
【施策4】 市民・事業者・行政の 協働での緑づくり	ホームページなどでの緑の情報提供や、 街路樹の植栽、イベントの開催など、市民 や事業者と緑づくりを通じてつながりを深 めます。	市民、事業者、行政					

(2)リーディングプロジェクト管理表

リーディングプロジェクトの取組の成果をチェックする目安として、緑の機能とタイムスケジュールを設定します。取組の進捗は定期的にチェックし、状況に応じてリーディングプロジェクトの見直しを行います。

リーディングプロジェクト管理表

	リーラ	ディング	プロジェ	こ クト		緑の	機能		タイム	スケジ	ュール
対象	施策1 緑あふれる道づくり	施策2 生垣のまちなみづくり	施策3 みんなに愛される身近	協働での緑づくり 施策4 市民・事業者・行政の	環境保全機能	レクリエーション機能	防災機能	景観形成機能	実施中	前半 (~5年程度)	後半(5年~10年程度)
都市計画道路蒲郡港線	0			Δ	0	0	0	0	0	0	0
オレンジロード	0	0		Δ	0	0	0	0		0	0
マリンロード	0	0		Δ	0	0	0	0	0	0	0
西田川	0			Δ	0	0	0	0		0	0
落合川	0			Δ	0	0	0	0		0	0
拾石川	0			Δ	0	0	0	0		0	0
生垣のまちなみづくり		0		Δ	0	Δ	0	0		0	0
新しい公園づくり			0	Δ	0	0	0	0		0	0
公園の再整備			0	0	0	0	0	0		0	0
緑に関する情報提供				0	Δ	0	Δ	Δ	0	0	0
緑づくりのイベント				0	Δ	0	Δ	Δ	0	0	0

凡例

- ◎ つながりや効果が強いもの
- つながりや効果のあるもの
- △ 間接的につながりや効果が あるもの

生垣のまちなみづくり イメージ



5-4 緑化重点地区

(1)緑化重点地区とは

緑化重点地区とは、「緑化地域*以外の区域で、集中して緑づくりを進めるべき地区」です。

緑化重点地区では、緑の将来都市デザインを目指して、市民・事業者・行政が協働で、他地域のモデルとなるような魅力ある緑づくりを集中して進めていきます。

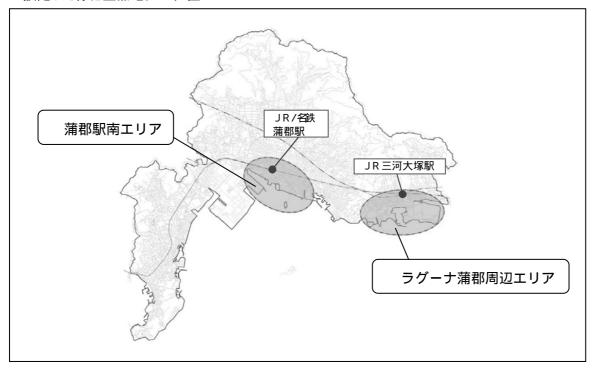
緑化重点地区に設定される地区

- ① 駅前など、都市の象徴となる地区
- ② 特に緑が少ない地区
- ③ 都市における自然環境の保全・創出が特に重要な地区
- ④ 避難場所の面積が十分でないなど防災面の課題があり、市街地の緑づくりの必要性が特に高い地区
- ⑤ 緑づくりに対する市民の意識が高い地区
- ⑥ 市街地開発事業などの予定地区
- ⑦ 緑地協定などにより良好な住宅地づくりを促進する地区
- ⑧ 都市公園を中心に、市民の憩いの場づくりを進める地区
- ⑨ 公共施設と民有地の一体的な緑づくりや景観づくりにより良好な環境の保全・創出を図る地区
- ⑩ ヒートアイランド現象の緩和など、都市環境の改善が必要な地区

(2)緑化重点地区の設定とその理由

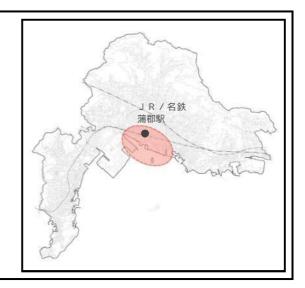
観光立市蒲郡の玄関口としてふさわしい緑づくりが必要な「蒲郡駅南エリア」と、マリンリゾートとしてふさわしい緑づくりが必要な「ラグーナ蒲郡周辺エリア」の2 地区を緑化重点地区に設定して、集中して緑の将来都市デザインを目指した緑づくりを進めていきます。

■設定した緑化重点地区の位置



【エリアの範囲】

JR/名鉄蒲郡駅から竹島をつな ぐルートとその周辺エリア



蒲郡駅南エリアは、本市の玄関口「JR/名鉄蒲郡駅」のほか、「蒲郡市博物館」や「竹島水族館」、国指定天然記念物の「竹島」など、魅力ある緑が数多くあります。

蒲郡駅南エリアでは、市民・事業者・行政が協働で、 モデルとなる魅力ある緑づくりを集中して進めていき ます。



(1)蒲郡駅南エリアの緑づくりのテーマ

『 観光立市蒲郡の玄関口としてふさわしい緑づくり 』

- ・蒲郡南駅前広場の緑づくりを推進します。
- ・主要道路の緑づくりを進め、緑のネットワークづくりを推進します。
- ・エリア全域の一体的な緑づくりを推進します。
- ・市民・事業者・行政が協働で、街路樹や公園、海辺などを保全します。

(2)蒲郡駅南エリアの現況と基本方針

	対象	現況	基本方針
交通	蒲郡駅と蒲	・蒲郡駅は、本市の玄関口となる	・蒲郡南駅前広場では、本市の玄
拠点	郡南駅前広	駅です。JR東海道線と名鉄蒲	関口としてふさわしい景観づく
	場	郡線が通っていて、公共交通機	りのため、花壇やハンギングバ
		関の中心となっています。	スケット*、トピアリー*など、
		・鉄道高架化事業や駅及び蒲郡南	様々な緑づくりを推進します。
		駅前広場の整備が進められまし	
		た。	
		・本エリアの入口となる蒲郡南駅	
		前広場には、四季の花々や樹木の様式の様式のなった。	
		の植栽、広場のシンボルとして	
		ヨットのモニュメントが設置されています。	
	都市計画道路	れています。 ・蒲郡南駅前広場と竹島埠頭をつ	 ・駅と海をつなぐシンボルロード
但陷		なぐ都市計画道路蒲郡港線は、	としてふさわしい道路とするた
	蒲郡港線	「海への誘導」をコンセプト	め、市民・事業者・行政が協働
		に、電線類の地中化を進め、海	で緑づくりや保全活動を進め、
		への開放感のある空間や、日常	通りを花で飾り、「花のみち」
		の交流やくつろぎの場が創出さ	(仮)」として、美しい景観づ
		れています。	くりを推進します。
		・歩道には街路樹を植栽し、照明	・広い幅員をいかし、散策やくつ
		も海のまちらしいデザインのも	ろぎの場としても魅力ある道づ
		のを使用しています。	くりを目指します。
	マリンロー	・三河湾に沿って市民会館と俊成	・市民・事業者・行政が協働で緑
	۲	園をつなぐ都市計画道路松原線	づくりや保全活動を進め、通り
		は、通称マリンロードと呼ばれ	を花で飾り、「花のみち(仮)」
		ていて、海辺の観光施設をつな	として、海辺の魅力ある緑のネ
		いでいます。	ットワークづくりを推進しま
		・マリンロードの歩道は、歩行者	<u>す</u> 。
		通路と自転車道が分離した形と	・海辺の散策路として、ベンチや
		なっていて、海辺の散策路にな	ゴミ箱の設置など、歩いて楽し
		っています。	い道づくりを目指します。
案内板	公的サイン	・蒲郡駅南エリアでは、都市景観	・公的サイン事業を進め、都市景
		と調和した、特色あるデザイン	観づくりを推進します。
		の案内標識が飾られています。	

	対象	現況	基本方針
公園・ 緑地	竹島	・竹島は、東海地方では唯一の暖帯林や、貴重な生物が生息していて、国指定天然記念物となっています。 ・竹島と八百富神社は、文化・伝統の面で大きな価値を持ち、市内の貴重な観光資源となっています。	・貴重な生態系や自然環境を保全 するため、市民・事業者・行政 が協働で、適切な保全活動を推 進します。
	俊成園 (竹島園地)	・竹島水族館に隣接している、広さ 0.96ha の園地で、芝生の広場が広がっているほか、展望台があり、三河湾と竹島を見渡せる眺望点となっています。	・市民・事業者・行政が協働で公 園の再整備を進めるなど、身近 で楽しめる公園づくりを推進し ます。
	海岸公園 (リフレッ シュパーク みらいあ)	・昭和 47 年6月の海岸埋立造成 区域につくられた、面積 0.38ha の公園で、平成 21 年 度に事業者によって再整備が進 められました。	・市民・事業者・行政が協働で整備した公園のモデルとして、公園づくりの情報提供や情報共有を推進します。
施設	観光施設 宿泊施設 など	・蒲郡駅南エリアには、蒲郡温泉郷や、海辺の五館と言われる海辺の文学記念館、竹島水族館、生命の海科学館、海賓館マリンセンターハウス、蒲郡市博物館などがあります。	・エリア内にある観光施設では、 魅力を高めるため、周辺環境と 調和した緑づくりや観光施設を つなぐ相互の緑のネットワーク づくりを推進します。
公共 施設		・蒲郡駅南エリアには、市民会館 や、蒲郡市博物館、情報ネット ワークセンター・生命の海科学 館があります。	・公共施設では、市街地の緑を増めすため、駐車場の芝生化や、壁面緑化、外周の緑づくりなど、モデルとなる緑づくりを推進します。
施設		・都市計画道路蒲郡港線や一般国 道 23 号などの主要道路沿い に、大型商業施設、事業所があ ります。	・大型の民間施設では、市街地の 緑を増やすため、駐車場の芝生 化や、壁面緑化、外周の緑づく りなどを支援する仕組みづくり を推進します。

	対象	現況	基本方針
河川		・蒲郡駅南エリアを流れる西田川 は、延長約 5.8km、流域面積 11.8km ² の二級河川です。伊 勢湾台風と昭和 46、49 年の 洪水をきっかけに、高潮堤防の 整備や河川改修など、順次整備 が行われています。	・河川整備では、災害への備え や、多様な生物生息の場の保 全・回復、川とふれあえる場所 や良好な景観づくりを目指しま す。 ・西田川では、市民・事業者・行 政が協働できれいな水やきれい な水辺づくりを進めていきま す。 ・河川沿いでは、子どもたちが花 の種をまく「花のみち(仮)」 づくりを進め、親しみのある水 辺環境づくりを推進します。
海辺		・俊成園付近の海岸は、親水性の 護岸となっていて、春から夏に かけて、潮干狩りなどの体験型 レクリエーションが楽しめま す。	・市民・事業者・行政の協働で、 きれいな水辺を保全します。

緑化重点地区 蒲郡駅南エリアデザイン図





ラグーナ蒲郡周辺エリア

【エリアの範囲】

一般国道 23 号及びJR三河大塚 駅を含むラグーナ蒲郡とその周辺 エリア



ラグーナ蒲郡周辺エリアは、「ラグーナ蒲郡」を中心とするマリンリゾートエリアです。

「ラグーナ蒲郡地区」では、地区計画による「マリンリゾート」をテーマとしたまちづくりが進められています。ラグーナ蒲郡周辺エリアでは、マリンリゾートの中心地としてふさわしい、特色ある緑づくりを推進します。



(1)ラグーナ蒲郡周辺エリアの緑づくりテーマ

『 マリンリゾートとしてふさわしい緑づくり 』

- ・「マリンリゾート」のテーマに合わせた特色ある緑づくりを推進します。
- ・エリア全域の一体的な緑づくりを推進します。
- ・市民・事業者・行政が協働で、街路樹や公園、海辺などを保全します。

(2)ラグーナ蒲郡周辺エリアの現況と基本方針

	対象	現況	基本方針
道路	臨港道路	・本エリアのメインストリートの	・市民・事業者・行政が協働で、
	海陽1・2号線	広幅員の道路です。アメリカデ	街路樹の植栽や保全活動を推進
		イゴなど特色ある街路樹が植栽	します。
		されていて、マリンリゾート風	・ガードレールや観光施設を示す
		のシンボルロードとなっていま	案内サインなどでは、マリンリ
		す。	ゾートとしてふさわしい材質や
			デザインでの整備を検討しましま。 す。
			・JR三河大塚駅からラグーナ蒲
			郡へ向かう通りでは、来訪者に
			とって魅力的で歩きやすい道路
			づくりを目指します。
	一般国道 23 号	・ラグーナ蒲郡周辺エリアの北部	・市民・事業者・行政が恊働で、
		を東西に通っている主要道路で	臨港道路海陽2号線とつながり
		す。	を持った、街路樹の植栽や通り
			の緑づくり、保全活動を推進し
			ます。
	市道海陽町	・ラグーナ蒲郡の東部の道路で、	・臨港道路海陽1・2号線とのつ
	1 号線	臨港道路海陽1号線からラグー	ながりを持った、特色ある街路
		ナの湯、海陽中等教育学校を通	樹の植栽を進めます。 ・ガードレールや観光施設を示す
		って一周しています。	* カートレールや観元旭設を小り
			トとしてふさわしい材質やデザー
			インでの整備を検討します。
 公園・	大塚海浜緑地	・三河湾に面した、9.69ha の広	・様々なレクリエーション活動の
緑地	ノヘーのノラノスルかっじ	い敷地を持つ港湾緑地で、芝生	場として活用を図ります。
MAY-C		広場や花木園、幼児向け広場な	・地域に愛される公園をつくるた
		どがあります。	め、市民・事業者・行政が話し
		・手筒花火やウォーキングイベン	合い、整備や管理を協働で進め
		トの会場に利用されています。	ます。
	海陽緑地、	・海陽ヨットハーバー周辺の緑地	・統一した樹種での緑づくりなど
	海陽ヨットハ	で、面積はそれぞれ 1.80ha、	により、周辺と調和した景観づ
	ーバー緑地	1.30ha で、主に芝生広場とな	くりに努めます。
		っています。	

	対象	現況	基本方針
公園· 緑地	海陽多目的広場	・面積は 5.96ha で、大半が芝 のグランドです。様々なスポー ツの場となっています。	・スポーツ以外での利用を含め、 地域のニーズに合わせた機能や 施設の充実により、利用促進を 目指します。・統一した樹種での緑づくりなど により、周辺と調和した景観づ くりに努めます。
施設	ラグーナ蒲郡	・大規模レジャー施設です。アミューズメント施設やマリーナ施設、リラクゼーション施設や、マンションや商業施設、学校もあります。「マリンリゾート」をテーマにまちづくりが進められていて、施設内や通りでは特色ある植物で緑づくりが進められています。	・駐車場の芝生化や建物緑化を更に推進します。 ・地域の水産物や観光資源をPRする場所としての活用を図ります。
	海陽ヨットハーバー	・平成5年につくられた県営のヨットハーバーで、陸水域合わせて 12ha の面積があり、シャワー室や会議室を備えたクラブハウスがあります。年間を通してヨット競技が行われています。	・「マリンリゾート」のテーマに 合わせた緑づくりを進めます。
学校		・ラグーナ蒲郡周辺エリアには、 全寮制の中高一貫校である海陽 中等教育学校があります。	・海陽中等教育学校では、「マリンリゾート」のテーマに合わせ、周辺と調和した緑づくりに努めます。
水路		・大塚海浜緑地の周辺は、親水性 護岸になっています。	・水辺環境の保全のため、市民・ 事業者・行政の協働での、海辺 や水路沿いの美化活動の実施を 検討します。 ・護岸づくりでは、親水性の向上 を目指し、海に親しめる場所づ くりを検討します。

(111) 海岸線 (1111) 海岸線 (1111) 海岸線 (1111) 海岸線 上型なアクセス道路 (1111) (11 マリンリゾートのテーマに 合わせ、周辺と調和した縁づ 臨港道路海陽1・2号線と つながりを持った特色ある街 路樹の植栽や通りの緑ブくり 観光施設 くりに努めます。 海陽中等教育学校 を進めます。 で歩きやすい道路づくりを目指します。 の植栽や保全活動を推進します。駅か らラグーナ蒲郡への通りでは、魅力的 市民・事業者・行政が協働で街路樹 市道海陽町 1 号線 民・事業者・行政の協働での水 辺の美化活動の実施を検討しま す。護岸づくりでは、親水性の (…)水辺環境の保全のため、 JR三河大塚駅 向上を目指します。 臨港道路海陽1号線 -般国道 23 号 がりを持った特色ある街路樹 の植栽や通りの縁づくり、保 臨港道路海陽2号線とつな 全活動を推進します。 整備や レクリエーション活動の場として 活用を図ります。また、地域に愛 される公園をつくるため、市民・ 事業者・行政が話し合い、 管理を協働で進めます。 ラグーナ蒲郡周辺エリアデザイン図 駐車場の芝生化や建物緑化 水産物や観光PRの場とし 大塚海浜緑地 ての活用を図ります。 ラグナシア 臨港道路海陽2号線 を推進します。 マリンリゾートのテーマに合 わせた緑づくりを進めます。 海陽多目的広場 地域のニーズに合わせた機能 や施設の充実により、利用促進 を目指します。また、周囲と調 和した景観づくりに努めます。 周辺との調和した景観づ 海陽ヨットハーバー緑地 海陽ヨットハーバー 每陽綠地 りに努めます。 緑化重点地区